

**2016年度 パスカル・モラゲス客員教授 クラリネット 特別講義**

1. 日 時 : 2016年 11月 21日(月)13時00分～17時00分
2. 場 所 : ミレニアムホール
3. 対 象 学 生 : クラリネット専攻・コース生 学内のみ他聴講可
4. 講 師 紹 介 : パスカル・モラゲス客員教授 (Pascal Moragues)

6歳からソルフェージュを、8歳からクラリネットを始めた。

14歳でパリ音楽院に入学し、ユリス・ドゥレクリューズ、ギイ・ドゥブリュに学ぶ。

16歳でクラリネット、17歳で室内楽の一等賞を得る。

ダニエル・バレンボイムによって、パリ管弦楽団のスーパー・ソロイストに選ばれた。弱冠18歳だった。パリ管弦楽団の独奏者としても、ピエール・ブーレーズ、レナード・バーンスタイン、セミヨン・ビシュコフなどと度々共演している。

1990年、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団々員の希望により、パリ・ロンドン公演に独奏者として参加した。また、モスクワで開催されたスヴャトスラフ・リヒテル主催のフェスティバルにも招かれ、CDでベートーヴェンの五重奏曲を共演している。パリ音楽院のクラリネット科が教授二名制になるやいなや、32歳の若さで教授に任命され、フィルップ・ベローと共に後進の指導に当たっている。オーケストラ、室内楽、ソロ、教育において、名実共にフランスを代表するクラリネット奏者の一人である。  
大阪音楽大学客員教授

5. 講 義 概 要 :

公開レッスン		
1. 竹内 良宜 (大3) 伴奏 水谷 友彦 (院1)	ドビュッシー	第一狂詩曲
2. 安藤 華菜 (大4) 伴奏 久禮 奏絵 (大4)	ヴィドール	序奏とロンド
3. 中山 紗奈 (大4) 伴奏 小縣 一正 (短2)	ショーソン	アンダンテとアレグロ
4. 吉田 由希乃 (大4) 伴奏 小野 文 (演奏員)	フ ラ ン セ	協奏曲第3・4楽章